

天神の回遊性高まる

福岡・ソラリアプラザ改装

博多駅周辺施設に對抗

西日本鉄道の商業施設「ソラリアプラザ」が25日全面開業すると、駅や周辺の商業施設との回遊性が高まり、街のにぎわいにつながると期待される。JR博多駅周辺の商業施設との競争はさらに激しくなりそうだ。
(大郷秀爾、川口尚樹、本文記事33面)

■改装効果

「天神に新たな魅力を創造したい」。ソラリアプラザの東主司館長は23日の内覧会で意気込みを語った。改装の最大の特徴は回遊性の向上だ。九州各地と天神を結ぶ高速バスの発着点となる「西鉄天神高速バス

ターミナル」、天神地下街

や駅と行き来しやすくなった。女性向けが中心だった売り場構成も見直し、地下1、2階は男性向け専門店や飲食店などをそろえた。開業後の1日平均の来館者数は13年度に比べ約2割増の4万人、年間売上高は約6割増の150億円を見込む。天神地区を代表する

ソラリアプラザ周辺でも大規模改装が相次いでい

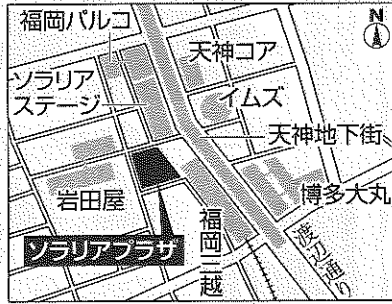
る。博多大丸は約10億円を投じて、食品フロアを順次改装し、本館、東館の地下2階をほぼ一新する。23日には精肉売り場が改装オープンした。岩田屋三越が運営する福岡三越は、昨年9月に地下1階を専門店街「ラシック」にし、岩田屋本店

■エリアの活性化

商業施設の大規模改装に対して、「天神活性化の起爆剤になる」（流通関係者）と期待は高い。

も昨秋、食品フロアを改装した。福岡パルコも昨年11月の新館開業に続き、3月には本館を増床した。「施設の特徴を生かして互いに切磋琢磨し、エリア全体の吸引力が高まる」（岩田屋三越）との声がある。

博多駅周辺では、16年春にファッションビル丸井グループ（東京）が九州初進出する予定で、さらに商業の魅力は高まる。ジュームの神崎依子調査研究部長は「天神は多様な商業施設が集積した面としての強みがあり、歩行者天国など幅広く人を呼び込む取り組みが広がれば街全体の集客につながると指摘する。」



ソラリアプラザ地下2階に九州で初めて出店する「ディーンアンドデルーカ」の店内

◆天神や博多の商業施設を巡る主な動き

年	施設名
1976年6月	天神コアが開業
9月	天神地下街が開業
89年3月	ソラリアプラザが開業
97年10月	福岡三越が開業
99年4月	ソラリアステージが開業
2005年2月	福岡市営地下鉄七隈線が開通 天神地下街が延伸
10年3月	福岡パルコが開業
11年3月	JR博多シティが開業
14年3月	博多シティの改装で「アミュエスト」誕生
9月	福岡三越地下に専門店街「ラシック」誕生
10月	博多大丸が東館地下を改装
11月	岩田屋本店の食品フロア改装 福岡パルコ新館が開業
15年3月	福岡パルコ本館を増床
4月	ソラリアプラザ改装オープン
16年春	丸井グループが博多駅前に出店予定

「多様さ強み」改装の背景には、存在感を高める博多駅周辺の商業施設への対抗がある。天神の主な百貨店や商業施設の売上高の合計は約2300億円と推計され、天神全体の売り上げ規模は、博多の約2倍以上になる。

市場調査会社ジューム（福岡市）が福岡県在住の20歳以上の男女5000人に昨年実施した調査によると、1か月に訪れる頻度は、

